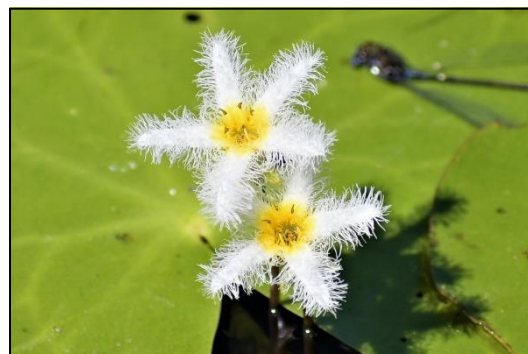




ムクゲ (アオイ科) ①
高さが3~4mになる
Hibiscus 属の落葉低木です。



タヌキモの花 (タヌキモ科) ②
食虫植物で、黄色い花を咲かせます。下池で見られます。



ガガブタ (ミツガシワ科) ③
7月~9月頃、5弁の白い花を咲かせます。探すと6弁、7弁の花も見られます。



クリの若い実 (ブナ科) ⑧
今年も、クリの若い実がたくさん付いています。



カノコユリ (ユリ科) ⑤
花に「鹿の子模様」が付いていることからカノコユリと呼ばれています。



ダイダイの若い実 (ミカン科) ⑥
酸味が強いので、そのまま食べるよりは、ポン酢やマーマレードなどに加工して利用されます。



サルスベリ (ミソハギ科) ⑦
樹皮がなめらかで、サルも滑り落ちるといってこう名付けられています。花期が長いことも特徴で、百日紅とも呼ばれています。



浮遊植物で、^{きのう}気嚢が浮き袋になって水面に浮かびます。7月~10月頃、3枚の花弁の白い花を咲かせます。

トチカガミ (トチカガミ科) ④



ヒペリカム アンドロサエマム (オトギリソウ科) ⑨

ヒペリカム属の植物で、別名コボウズオトギリ(小坊主弟切)。丸いつやつやした果実が特徴です。



カラタチの若い実 (ミカン科) ⑪
^{からたちばな}唐橘を略した名前です。実は生で食べるのではなく、果実酒の材料とされます。また、栽培する柑橘類の接ぎ木の台木として使われます。



ユズの若い実 (ミカン科) ⑬
ユズの葉柄には翼があり、大きな葉と小さな葉が連なっている様に見えます。広く栽培されており、実は調理用や飲料に使われます。



オオスカシバの成虫 (スズメガ科)

幼虫(令和5年7月下旬のみどころに掲載)がクチナシを食草とするオオスカシバの成虫です。見た際の印象は蛾というよりは蜂のイメージです。

みどころ Mikiyama

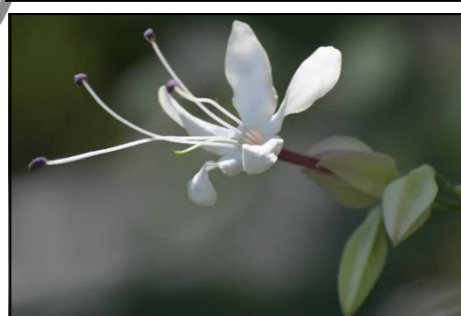
令和5年8月上旬

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています



クサギ⑫、クリ⑧は、園内各所で見られます。



クサギ (シソ科) ⑫
枝や葉に独特の臭いがあることからこの名前が付付けられていますが、夏には白い芳香のある花を咲かせます。秋に赤い萼の上に見える藍色の丸い実が美しい。



セトクレアセア (ツククサ科) ⑩
6月~9月頃、紅紫色の花を付けます。別名は紫御殿です。以前の属名セトクレアセアで流通しています。